



YES 通信



〒819-1116 糸島市前原中央2-2-22波多江ビル2F 電話 321-4119 2018年8月号

シンギュラリティとエクスポネンシャル

私がシンギュラリティという言葉を知ったのはつい最近のことです、今月の書籍紹介コーナーで紹介した「A.I.V.S. 教科書が読めない子どもたち」を4カ月程前に読んでからです。

もうすでに「存じの方も多いかも」かもしれませんが、私もいろいろとそれから調べたら、幻冬舎さんのサイトにも詳しく書かれていたのでその一部をシェアしたいと思います。

シンギュラリティがメティアに良く取り上げられるようになったのは、ソフトバンクの孫正義氏が2016年6月に、A.Iの進化について熱弁をふるった、「シンギュラリティがやってくる中で、もう少しやり残したことがあるという欲が出てきた」と、シンギュラリティが孫氏の社長続投の理由であったというところです。以後、数年前までは「一部の人間だけが知らなかった」「シンギュラリティ」という言葉が一般に注目されるようになったのです。

「シンギュラリティ」という概念が定着したのは、米国の発明家であり未来学者、A.Iの世界的権威であるレイ・カーツワイルの影響が大きいと言われています。カーツワイルは天才の中の天才ともいわれる人物で、持っている博士号の数は20以上。2012年からは、グーグル社でA.I開発の技術責任者を務めています。過去に3人の米国大統領からホウ

イトハウスに招聘(しょうへい)された方なのです。カーツワイルは著作のなかで、ある予言をしています。それは、「技術的特異点」と呼ばれる現象が、2045年に起きるとのことです。これこそが、孫氏が「見たい」といったシンギュラリティにほかなりません。シンギュラリティは、もともと「特異点」を意味する言葉です。数学や物理学の世界でよく使われる概念です。「この点を日本では、「A.Iが人類の頭脳を追い越すポイント」だとわかりやすく表現している人が多いようです。

ただ、このようなことが本当に起こるのかどうかについては賛否両論あり、今月の書籍紹介コーナーで紹介している新井氏はA.Iが人間を超えることは決してないと書いておられます。しかし、本当の問題はA.Iが人間を超えるかどうかではなくそれへ向かう勢いでA.Iが進化していることなのだと思います。カーツワイルはそのことを倍々のスピードで加速すると表現してました。

エクスポネンシャルという言葉があります。日本語に直すと指数関数的という意味です。一枚の紙を2つ折りにしてさらにそれを2つ折りにする、そしてさらに・・・と続けていくとあっといふ間に折り曲げられないくらい分厚くなってしまいます。計算上では0.1ミリの紙を51回折ると地球

から太陽までの距離になるのだそうです。

食中毒の細菌も夏場は盛んに分裂して増殖するので倍々ゲームが増えていきます。だからこの時期はA.Iが進化しているからこそシンギュラリティが話題になっているのです。

2045年になったら私は82歳です。中3生だったら42歳で一番脂がのっている年齢だと思います。私はぎのぎりその時代を見ることができるとかですが、生徒たちはまさにその時代を生き抜いていくはずなのです。

自動運転は当然のこと宇宙旅行や瞬間移動のような夢のようなことがあたりまえになっているかもしれません。もしかしたら、発展した技術を悪用され地球が滅亡しているかもしれません。それほど激動の時代を迎えるということなのです。

20年前にスマホがこのように当たり前になることをどのくらい予想出来ていたのでしょうか。これからはまさに予測不能の未来が待っているのです。そんな意味でもこのシンギュラリティとエクスポネンシャルという言葉には注意を払って欲しいと思います。

時代の波にのみ込まれるのではなく、時代の波に乗れるように日々準備を重ねていきたいと思います。そのためにもアンテナを高くしておきたいものですね！

やる気相談室

勉強

学べば則ち固ならず

そろばんの授業で丹田

音読を始めて1年以上が経過しました。1年間継続

することでほんの少しか

もしれませんが論語が身

近な存在になってきたよ

うな気がしています。

今月音読している論語

は「学べば則ち固ならず」

です。学びことで人間はいろいろな考え

が出来るようになり、柔軟な対応ができる

ようになるという意味で、まさに勉強の本

質を詠んでいる言葉だなあと感じます。

今年、九大の院生が2人いるのですが、

一人は新日鉄、もう一人はコクヨに就職が

決まりました。去年は一人はトヨタ、もう

一人は日産でした。いつも身近に九大生が

いるからか、こんな彼らの就職状況を見て

本当に羨ましいなあと思ってしまう。

やっぱり九大生の就職する所は総じてし

ベルが高いなあと感じています。なぜなの
でしょうか？

その理由がまさに「学べば則ち固ならず」
なのではないかと思つています。

知識は力です。自分では解決できないよ

うな問題も専門家に頼んだらすぐに解決す

ることも沢山あります。医者や弁護士の働

値はまさにそのようなところにあるのでわ

かりやすいと思います。

しかし、このことは普通のサラリーマン

にでも当てはまるのです。学習意欲の高い

人は何でもすぐに吸収していきます。企業

における問題解決もやはり知識や経験に基

づき多くの選択肢を持った人が解決の糸口

を発見していきます。

私達は生きていく上で、なんらかの判断、

決断をしないとイケない場面が何度も何度

も出てきます。その時に知識が少ないとい

うことはその判断の選択肢が少ないという

ことですね。

もし、ある課題を解決するにあたって、

一つの選択肢しか持たない社員と100の選

択肢を持った社員とでは、どちらの社員の
方が問題解決できる可能性が高いでしょう

か？選択肢の多い社員の方が上手くいく確
率が高いことは容易に想像できると思いま

す。

九大生というブランドはある意味そのよ

うな選択肢を多く持っている人材、そして

受験戦争を勝ち抜いてきた力を発揮して、

今後より多くの知識を習得して問題解決

してくれる可能性のある人材として評価さ

れているのです。

この論語を読んで、私が初めて就職した

企業の部長さん（唯一の九大卒の方でした）

が、当時新入社員だった私に何度も繰り返

してこんなことを話されていました。「この

缶コーヒーは真上から見たら丸やけど真横

から見たら長方形に見えるやろっつ見る

角度によっていろんな形に見えるぞっつ

いろんな見方が出来るようになるぞっつ

方からは見よつたら何事も上手かい

んのぞ」その見方を増やすことこそが学び

なのだ改めて思う今日この頃です。

書籍紹介 AI vs.教科書が読めない子どもたち 新井紀子著

受験改革に関して今後のことを考える上で是非読んだ方がよいと教材会社の方やコンサルタントの方がお勧めされていた本です。著者は「東ロボくん」という東大合格を目指すロボットの開発に直接関わっておいでる数学者新井紀子氏です。もはや「東ロボくん」は MARCH (明治、青山、立教、中央、法政) レベルに達しているそうです。ただ、東大レベルに「東ロボくん」を飛躍させるにあたっての一番の壁が国語力なのです。それだけ人間の言語能力というのは高度なのです。しかし、肝心の我々人間の国語力がどんどん低下していることが大問題だと問題提起されています。なんと、最近の学生の中には教科書がまともに読めない生徒が増えてきているのです。20世紀までは日本は総中流社会といわれ大企業に入社すれば全員が家族を養う経済力を持つことはもちろんのこと家を建てることだってそんなに難しいことではありませんでした。しかし、21世紀に入って世界で一番格差がない国と言われている日本でさえ格差が広がり始めています。AIの進化でさらに格差が広がると予想されるからこそ、人間が AI に勝つために必要な国語力を養成する必要があるようです。また、ロボット製作の最先端技術者が書いた本だけあって AI の得意なところ不得意なところをわかりやすく解説してあるのでプログラミングに興味のある方にもお勧めの1冊です。

